

防災品奏功事例 ～カーペット焼損火災の事例～

大阪府堺市消防局

日本防災協会では、防災品の使用と適切な初期消火活動などにより、火の勢いと延焼拡大を抑え、ご自身の安全と建物の被害をくい止めた事例を紹介しています。

今回は、堺市消防局管内での奏功事例をご紹介します。

1 出火時期

令和6年10月

2 構造用途・出火箇所

木造2階建一般住宅／1階居室

3 出火原因

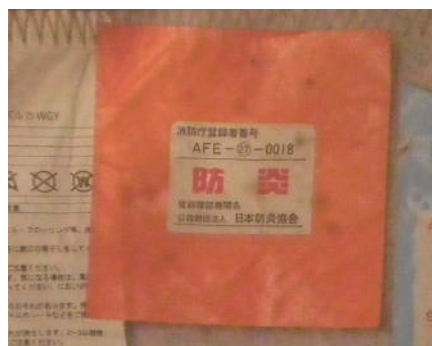
充電中のモバイルバッテリーが何らかの原因により内部短絡し、出火したものと見られます。

4 奏功概要

明け方の就寝中に発生した火災によりカーペットの一部が焼損したものです。防災性能を有するカーペットを使用していたため、延焼拡大することなく、2階にいた家人が住宅用火災警報器の鳴動音により火災を発見し、水を含ませたタオルで覆って消火したことで、延焼を最小限に食い止めることができました。



カーペット及びモバイルバッテリーの焼損状況



カーペット裏側に貼付されていた防災ラベル